

輸送動向について(平成22年10月分)

平成22年11月

1. 輸送概況

今月は、下旬に台風14号の接近に伴う大雨による輸送障害が発生し、月全体では高速貨25本が運休した。

荷動きについては、円高に伴う輸出企業の生産活動の低下に加え、エコカー補助金の終了に伴う新車販売の落ち込みもあり、月間を通し低調に推移した。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、食料工業品などが前年を下回ったものの、紙・パルプ、家電・情報機器などが前年を上回り、全体では前年比100.2%となった。紙・パルプは前年の生産調整の反動及び車扱のコンテナ化により増送となった。また、家電・情報機器は、家電エコポイント制度の見直しを見越して対象製品の出荷が好調に推移した。一方、農産品・青果物は北海道地区の野菜類が生育不良のため大幅に減送となった。また、食料工業品は、10月のたばこの増税に伴う先送りによる反動により減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石など全ての品目が前年を下回り、全体では前年比86.5%となった。石油は気温が前年より高めに推移したため灯油等の需要が減少し、大幅な減送となった。また、セメント・石灰石は工場の出荷調整及び一部荷主の輸送中止により減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,894	1,890	100.2%	12,211	11,696	104.4%
車 扱	744	860	86.5%	5,439	5,537	98.2%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	229	257	-28	89.1%
	化学工業品	181	175	6	103.4%
	化学薬品	137	135	2	101.5%
	食料工業品	259	273	-14	94.9%
	紙・パルプ	288	275	13	104.7%
	他工業品	137	135	2	101.5%
	積合せ貨物	196	201	-5	97.5%
	自動車部品	67	63	4	106.3%
	家電・情報機器	45	36	9	125.0%
	エコ関連物資	31	31	0	100.0%
	その他	324	309	15	104.9%
	コンテナ計	1,894	1,890	4	100.2%
車 扱	石油	515	566	-50	91.1%
	セメント・石灰石	80	105	-24	76.7%
	車 両	68	86	-18	79.5%
	その他	80	103	-23	77.7%
	車 扱 計	744	860	-116	86.5%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)